

JP-MIRAI臨時総会公開フォーラム

外国人労働者の人権と 健康を守るために

(認定)特定非営利活動法人シェア=国際保健協力市民の会
事務局長 八尋英昭

守りたいのは、いのち

2023年5月19日



シェアが目指していること



Health for ALL!

シェアは、すべての人々が心身共に健康に暮らせる社会が実現することを目指しています。

シェア=国際保健協力市民の会とは

1983年に日本で生まれた国際保健NGOです。

主役は住民、持続可能な支援を目指して、現地の人々と協力しながら、「共に考え、共に行う」健康づくりを海外及び日本で進めています。

シェアの現在の活動



地域住民の自発的な取り組みが
子どもの成長を支える

目指す成果

コミュニティでの子どもの健康増進活動（包括的乳幼児健康診断、妊産婦および養育者への健康教育、離乳食教室等の啓発活動）定着により、2歳未満児の栄養状態が改善される

僻地に暮らす母と子の保健サービスが
当たり前になる

目指す成果

保健スタッフによるサービスの改善と、
学校を含むコミュニティの参加によって、
対象住民のサービス利用が促進される



外国人母子が保健医療サービスに
アクセスでき、日本で安心して妊娠
・出産・子育てができる

目指す成果

1. 外国人母子が切れ目ない支援を受けられる
2. 外国人を対象とした保健に関する情報発信が強化される
3. コロナ禍での在日外国人支援を強化

日本の人権課題に対する国際社会の厳しい目

■ 2023年2月4日国連人権理事会報告書

⇒ 死刑制度の廃止、外国人収容施設での医療体制の改善、性的マイノリティーへの差別解消、同性婚の合法化、政治・経済分野における女性の参加促進などを求める勧告

■ 2022年7月米 국무省人身取引報告書

⇒ 技能実習生の人権侵害を厳しく指摘し、日本の人身取引撲滅のための取組みは最低基準を十分に満たしていないと非難。

JP-MIRAIに対する期待

- ビジネスと人権が求める「救済」の仕組みの構築はもちろん、
更に進めて、日本で、「救済」を必要とする外国人労働者を
生み出さない。
- 自社だけでなく、サプライチェーン全体で。
直接の雇用関係がなくても彼らの働きで自社のビジネスがある。
- それぞれの人権ポリシー、各国の現代奴隷法にコンプライする。
- ポイントは、外国人労働者の人権と健康に対する、職場の上
司や同僚の深い理解。外国人労働者を孤立させない。

JP-MIRAI会員が率先して、日本を変えていただきたい。